



令和8年度 市民懇談会 香南トーク

～市政の現状と未来に向けて、市民の皆さまと熱心な意見交換が行われました～

7月11日(土)に香我美市民館にて市民懇談会が開催され、68人の皆さまにご参加いただきました。市からは令和8年度に取り組む3つの柱と戦略的な取り組み、事前質問への回答、支所から窓口センターへ移行した場合の業務内容案などについて説明を行いました。

農業政策、行政改革、防災対策、地域交通など市民生活に直結する重要なテーマについて活発な質問が出されました。

農業政策について

Q. 香南市が取り組んでいる農業政策、市民農園などの取り組みに期待したい。

A. 7月に県、農業協同組合、有機農業に意欲をもっている農家の方と北海道旭川市の視察を行いました。旭川市は環境にやさしい有機農業に力を入れており、有機米の生産拡大と消費拡大を行っています。香南市の農業におきましては、担い手不足や物価高騰で厳しい局面ではありますが、慣行農業を営まれている方を引き続きサポートすると同時に、農業に興味をもつただけのよう新しい取り組みを行いながら、新規就農者の確保も行っていきたいと考えています。

【濱田市長】



▲濱田市長

窓口センターへの移行について

Q. 財政難であるならば、支所を廃止し、規模の小さい窓口センターになぜ早く移行しないのか。

A. 行政改革推進委員会に諮りながら、できるだけ市民サービスに影響が出ないよう、現在、市民説明会などを通じて丁寧に説明を行っています。窓口センターにつきましては、令和10年度からを目標に議論を進めています。

【北村副市長】



▲北村副市長

支所廃止による財政効果について

Q. 支所廃止の財政効果について、4支所で職員が何名削減され、人件費の削減額は総額でいくら見込まれているか。

A. 令和9年度末(想定)の支所の職員数は20名(会計年度任用職員含む)、令和10年度からの窓口センターは8名(会計年度任用職員含む)となる予定です。人件費の削減額は12名減で約8千350万円を想定しています。【総務課長】

は、道路上の枝打ちや、伐採を行っています。併せて、所有者に対し、口頭または文書により適切な管理を依頼しています。毎月1回、主要な市道のパトロールを実施するとともに、市道の異常の有無を確認する等、引き続き、道路保全の取り組みを行っています。【建設課長】

避難所について

Q. 指定避難所について、どこに行けばいいのか理解していない市民がいる。今後の周知方法について聞きたい。

A. 市民の皆さまの防災意識が向上するよう、広報誌、防災マップへの記載、防災訓練、出前講座などで周知を行い、いざという時に迅速に避難ができるよう引き続き周知に努めていきます。【防災対策課長】



※掲載にあたり、意見を抜粋し発言の要旨を誌面に書き直させていただいています

災害関連死について

Q. 地震による直接死者数よりも災害関連死者数が多いと聞くが、その原因は何か。

A. 災害関連死につきましては、避難生活の環境、食生活の偏り、精神的ストレスなどが考えられます。令和8年3月には県が、南海トラフ地震等の被害想定を新たに公表しました。公表された災害関連死者数の想定をもとに、市としても今後対策を検討していきます。【防災対策課長】

市バス・予約式乗合タクシーについて

Q. 市バスの利用者数について聞きたい。高齢者は、病院通院などで、予約式乗合タクシーの利用方法が分かりにくいので不便を感じていると聞く。

A. 市バスの利用者数は、令和5年度から令和7年度の期間におきまして、それぞれ約4万人、約5万人、約6万人と毎年度増加傾向にあります。予約式乗合タクシー

市民懇談会へのご参加 ありがとうございました

市民懇談会の目的は、市民の皆さまに市の取り組み重点施策などを説明するとともに、地域の生の声を行政の施策等に反映させていくことです。皆さまからいただいたご意見やご提案、また当日の回答や後日対応の内容を、地区ごとに「市民懇談会力ルテ」としてまとめています。次の場所へ設置していますので、ぜひご覧ください。

「市民懇談会カルテ設置場所」

- 野市地区(市役所2階市民活動支援スペース、野市図書館、みどり野東公民館)
- 香我美地区(香我美支所、岸本防災コミュニティセンター、徳王子公民館、山南防災コミュニティセンター、山北公民館、西川公民館、東川公民館)
- 夜須地区(夜須支所)
- 赤岡地区(赤岡支所)
- 吉川地区(吉川支所)



▲香南トークの様子はこちらで配信中!